

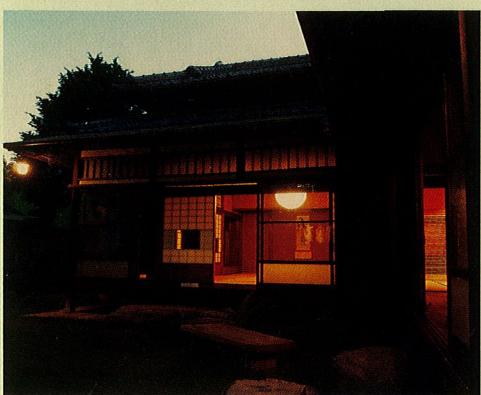
和日館木樟

しゅもくかんびより ◆ 第三号



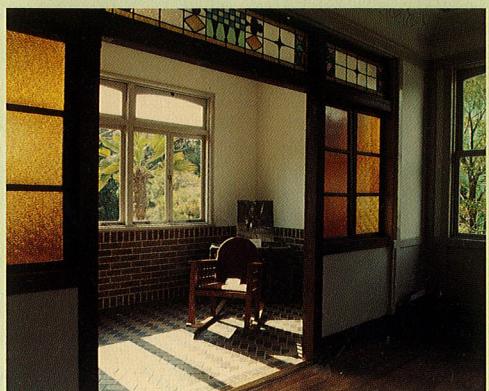
発行日：2011年3月
発行：文化のみち樟木館

四季
折々



文化のみち樟木館。
輸出陶磁器商、井元為三郎によって建てられたその館は、都会のけん騒を
忘れさせるよう静かに佇み、大正末から連なる記憶を今へ伝えています。
ステンドグラスの色鮮やかな光に満たされた洋館、懐かしい薰りにあふれる和館、
四季折々の趣が時を忘れさせる庭園、それら全てが皆様のご来館・ご利用を
お待ちしております。

文化の
薰り



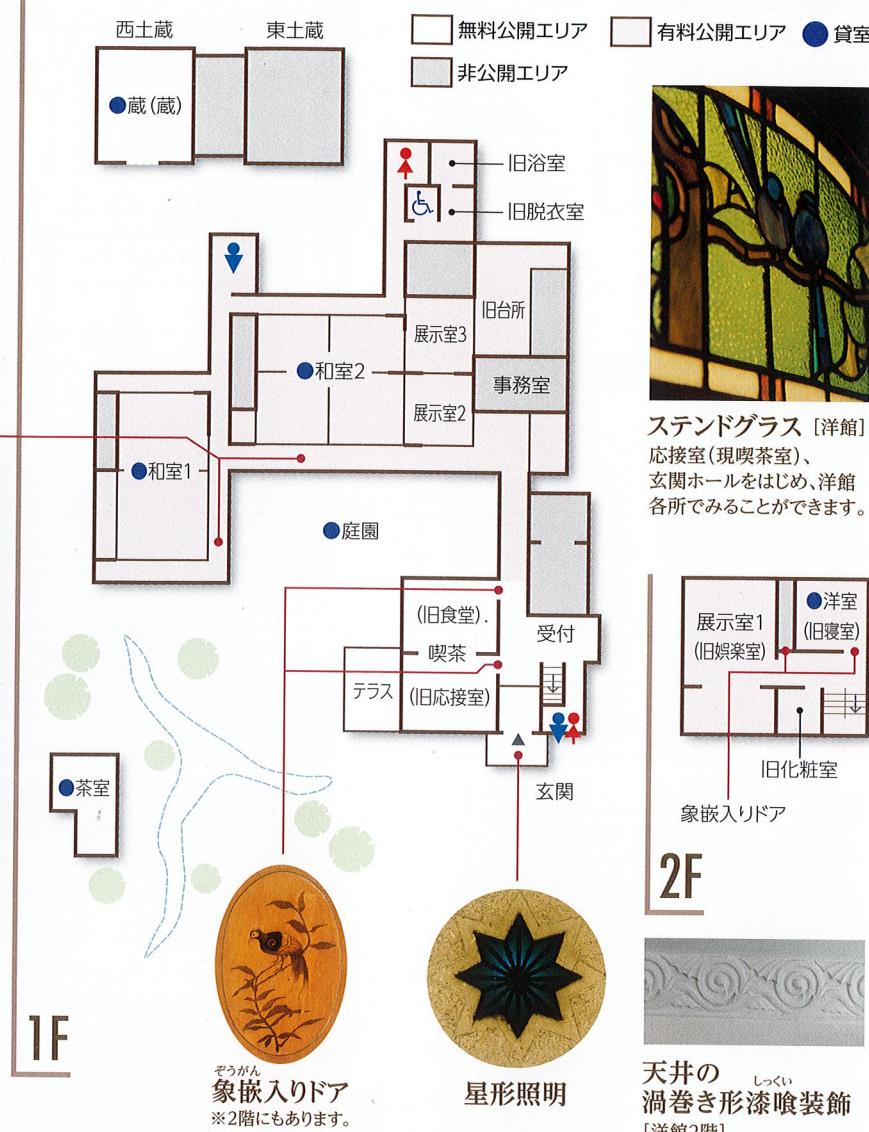
文化のみち 樟木館の みどころ



廊下の
数寄屋風装飾
[和館]



歪みのあるガラス
[館内各所]



ステンドグラス [洋館]
応接室(現喫茶室)、
玄関ホールをはじめ、洋館
各所でみることができます。

文化のみち 樟木館

しゅ もく かん

文化のみち樟木館は、大正末期から昭和初期に建てられました。主の井元為三郎は明治30年（1897年）陶磁器加工問屋「井元商店」を創業、その後アメリカや東南アジアへも進出し、名古屋陶業の発展に大いに貢献しました。約600坪の敷地に、庭を囲むように配された洋館、和館、茶室、その北側に建つ2棟の蔵のいずれも、創建当時の姿をよく残しています。ステンドグラスが贅沢に使われた洋館は、陶磁器バイヤーのゲストルームだったといわれています。

平成8年に名古屋市指定有形文化財、平成20年3月には景観重要建造物に指定されました。

多くの古い邸宅が壊されていくなか、井元邸は、平成8年から市民により一般公開や演劇、コンサートなど様々な活動が行われてきました。平成19年に名古屋市が取得し、平成21年7月に、文化のみち樟木館として、新たにオープンしました。

昭和初期の「歴史・文化」に触れ、そこから新しい「文化」を発信する。

樟木館がたどってきた「歴史」を継承しつつ、私たち市民の手で新たな「歴史」をつくる。それが文化のみち樟木館のめざすところです。

文化のみち樟木館の催し

文化のみち樟木館では、
館主催イベントをはじめ、
貸室利用の方が主催する催しが
年間通して行われています。



2010/9/4
お茶会



2010/5/25~30
真多呂人形翠会展



2010/9/16~26 庄司達退官記念展
[Navigation]



2010/7/11
開館年記念コンサート



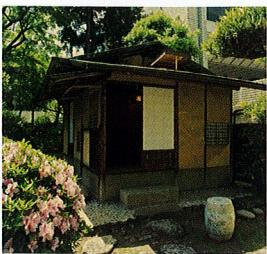
2010/10/10
秋のオカリナコンサート



2010/8/25~9/5
暮らしの中で楽しむ一昔前の道具たち



2010/5/8~9 木工家ウィーク2010·
NAGOYA 身近な木からスプーンづくり



茶室 [庭]

庭園の一角に、二層半中板向切の構えの茶室「撫松庵」があります。貸室としてご利用できます。



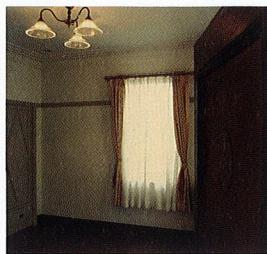
旧台所、浴室、脱衣室 [和館]

昭和初期の懐かしい雰囲気・生活の様子を味わっていただけます。



和室 1・2 [和館]

懐かしい雰囲気の広く落ち着いた和室です。貸室にも対応していますので、展示・イベントなどにご利用ください。



洋室 [洋館]

かつて寝室として使われていた洋室です。貸室としてご利用できます。



玄関ホール [洋館]

玄関ホールでは、4種類のステンドグラスをお楽しみいただけます。



庭園 [庭]

和館、洋館、茶室をつなぐ、緑豊かな庭園をご覧いただけます。和館付近の芝生部分は貸スペースとしてご利用できます。



西土蔵、東土蔵 [蔵]

木造(一部RC造)の西土蔵1階は貸室としてご利用できます。西土蔵の隣には煉瓦壁造の東土蔵(非公開)があります。



展示室 2・3 [和館]

江戸、近代、現代の3枚のパネルにより「文化のみち」の歴史を紹介しています。



喫茶 [洋館]

2羽の小鳥が描かれたステンドグラスをご覧いただきながら、ゆっくりとおくつろぎいただけます。



展示室 1 [洋館]

パネルや資料などにより、名古屋の陶磁器産業の歴史を紹介します。また、トランプ柄のステンドグラスもご覧いただけます。

スタッフ メッセージ



貸室 案内

文化のみち樟木館では和室・洋室・茶室・蔵・庭をお貸します。

ご利用日の3ヶ月前(「文化のみち」関連事業、「団体及び個人の文化活動(※)」に関する6ヶ月前)の初日から先着順に受付を行います。

※文化活動とは、営利目的の利用や町内会、同窓会等の単なる会合等を除いた文化的な活動をいいます。詳しくは、樟木館受付、または下記へお問い合わせください。

[文化のみち樟木館]

TEL:052-939-2850 FAX:052-939-2851
<http://www.shumokukan.city.nagoya.jp>

文化のみち樟木館のスタッフとして従事して、今年3年目になります。開館2年近くがたち、多くの方に樟木館を知つてもらえた、と思う一方で、まだまだ、「名古屋市内に長年住んでいるが、こんなところあるとは全く知らなかつた」と言われることが非常に多いのが現実です。一度来館された方が、次回に知人や家族を連れて来られたり、自由帳へ書かれた感想を見たりすると、楽しんでも頂けた嬉しさを感じます。が、名古屋市内で言えば、「二百数十万の人口のうち、樟木館の存在を知っている人は、まだまだ一部の人なのでしょう。1年目は、ことあるごとにマスクミなどに紹介され、何もしなくて来館者がやつて来る」という状態でした。しかし、2年目になると、そういう動きは一巡してこれからは、こちらから何か新しいことを仕掛けていかなくてはいけない、と強く感じるこの頃です。

文化のみち樟木館副館長
浜田二郎

